

ここだけはおさえない！！

今どきの在宅医療とは

最近、マスコミで「在宅医療」「在宅での看取り」が注目されています。
 2025年には団塊世代が75歳以上になり、医療・介護の需要がふえ、病院のベットが不足し、供給が追いつかない問題があります。

また、自分らしく生きるために「自宅での最期」を国民の半数が望んでいるからです。
 最近では、フリーキャスターの小林麻央さんが、在宅医療を受け亡くなりました。

在宅医療とは？

- ・自宅での療養を希望する方に対する医療行為です。
- ・医師や看護師、歯科医師、薬剤師、リハビリテーション専門職が来てくれます。
- ・年齢による制限がありません。(あらゆる疾患や障害に適応)
- ・各種の保険が適用されます。

具体的には何をしてくれるの？

- ①薬の処方 注射 医療処置が自宅で行うことができます。
- ②在宅医と連携して、緩和ケア・体調管理をして生活の質を保つことを基本に、患者の希望に添い、訪問してくれます。
- ③高齢者の場合は特に「治す医療」というより「支える医療」であり、その人らしい最期のお手伝いをサポートします。

在宅医を選ぶポイントは？

- ①専門性が合っているかどうか
- ②家から近いどうか
- ③24時間往診してくれるかどうか
- ④相性が合うかどうか など



★病院の相談室、地域の医師会、市役所・区役所など市町村の地域包括支援センターに相談して、ご自分にあった在宅医を探すとよいでしょう。